

子育てに関する理解を深めることを目的に、若い世代（高校生）を対象にした講演会を実施しております。

令和6年度は市内の2校にて実施しましたので、高校生の感想を紹介します。

講師 笠岡第一病院 副理事長（小児科医）
宮島 裕子 先生

実施 令和6年10月29日 および 11月12日
岡山龍谷高等学校 2年生（139名）

令和6年12月17日
笠岡商業高等学校 3年生（117名）

**** 主な講演内容 ****

- ◆ 出生数の推移と人口構成
- ◆ 妊娠、出産について
- ◆ 自立とは生きる力・・・自分育ての継続
- ◆ 自己肯定感・・・自分をあきらめない
- ◆ 社会に羽ばたくあなた達に
- ◆ 子育て親育ちの醍醐味 など

出生率減少の詳細を初めて知った。女性だけでなく男性も年齢が上がるにつれて不妊の確率が上がることも初めて知った。

妊娠の適齢期をしっかりと理解して早い段階から人生設計を考えていくことが大切だと思った。

誰かに頼る力も自立に必要であるということを学び共感した。「最初から10回するつもりで挑む」ということに納得した。進学し、初めての地で一人暮らしをするので、自分をコントロールして、スモールステップでチャレンジして成長していける人になりたい。

自己肯定感が低い自分にとって色々な事に挑戦することは苦手だけど、講演を聞いて失敗するのを恐れたりそれを人のせいにするのは良くない事だと分かったのでこれからの人生は出来るだけ挑戦し自分の成長につなげたいと思った。

子育ては、子どもを育てるだけでなく自分も成長する場だということを知り、将来のために頭の中に入れておこうと思いました。自立には自己肯定感が大事で、自分はすぐに自分自身を否定してしまうことが多いので、少しずつでも自分のことを認めて肯定していけるようにしていこうと思いました。

子育ては自分の時間を奪われて大変だけど、子ども達から未来につながる元気と勇気をもらうから頑張れるし楽しいと感じる、それが子育てであり、とても素敵なことだと思った。

人間の子どもは動物の中で一番弱い状態で生まれてくるという話を聞き、記憶がほとんどない赤ちゃんの時も今までたくさん支えてもらっているんだと改めて感じ、感謝しようと思いました。

母も大変な思いをして育ててくれたのだと思って、たくさん感謝し親孝行しようと思った。

子育ては子どもがメインになりがちだが、親も一緒に成長することを知り、親育ちに興味を持ちました。なかなか親の気持ちって分からないけど、自分が産まれてきてやっぱ親にとっては良かったのかなと改めて感じる事ができました。

親になることの大変さやそれに対するやりがい等が印象に残りました。僕が親になるのはまあまだ先だとは思いますが今のうちにこのような話を聞いて良かったです。

将来自分が子どもを持つことに実感がわかなかったり、不安や心配があったけど、今日の講義で子育ての醍醐味を知って、楽しそうだなと思った。